

名造教だより



作品展特集



《第72号》
 発行者
 名造教広報部
 発行日
 平成25年9月26日

初秋の候、皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、7月に造形作品展アンケートをお願いいたしましたところ、お忙しい中、たくさん
 の学校からご返事をいただきました、心よりお礼申しあげます。アンケートや資料を基
 に、作品展を紹介させていただきます。なお、本年度の作品展一覧表は、名造教ホームペ
 ージ（アドレス<http://www.meizoukyo.gr.jp>）で閲覧できますので、活用ください。

名古屋市立宮根小学校 「みやね美術館」

平成25年11月22日(金曜日)～11月23日(土曜日) 会場 体育館

1 ねらい

- 一人ひとりが、自分らしい見方・感じ方や発想を大事にして、のびのびと表現でき
 るようにする。
- 友達のよいところに共感し合い、みんなで協力してつくり出す楽しさを味わえるよ
 うにする。
- 友達の作品を鑑賞することを通して、そのよさ・美しさ・面白さを感じ取れるよ
 うにする。

2 活動内容・計画

各学年の題材と内容（変更の可能性あり）

学年	平 面 作 品	立 体 作 品
1年	〈共同〉ちぎり絵 どんな かたちのかみにも	〈個人〉工作(箱) 箱のなかたち
2年	〈個人〉絵 おはなし 大すき	〈共同〉工作(厚紙・セロファン) ひかりのプレゼント
3年	〈個人〉一部ちぎり絵 あのときを わすれない	〈共同〉工作(びん・粘土) ガラスびんのへんしん
4年	〈共同〉絵 ここには まっといるよ	〈個人〉工作(紙) とび出すメッセージ
5年	〈個人〉絵 え? 名前で絵	〈共同〉彫塑(粘土) 使って楽しい 焼き物を
6年	〈共同〉版画 版を 生かして	〈個人〉彫塑(針金・粘土) 12年後の わたし



【23年度作品展より】

(三品 錦司)

名古屋市立若水中学校 「文化祭(作品展)」

平成25年度11月7日(木曜日)～11月8日(金曜日) 会場 格技場

1 ねらい

授業で制作した作品を展示・発表する。他学年の作品を鑑賞し、今までの作品との比較、今後の制作の参考にする。

2 活動計画・内容

(1) 1年

- ① いろいろなスケッチ(くつ～上靴・運動靴・体育館シューズなど自分で描く物を選んでスケッチをする。)

視点の高さや自分の位置によって物の見え方が違う。／画用紙の中への入れ方を考え、構図を工夫する。／画面の中に大きく入れ、よく観察する／透明描法・不透明描法の違いを理解し、自分に適した彩色方法を選ぶ。

- ② 文字絵

明朝体・ゴシック体の練習をする。／下絵を考える。／色の学習をする。／配色計画をする。／ポスターカラーのぬり方を練習する。

(2) 2年

- ① 想像の世界へ(1年の後半に制作)

いろいろな技法の学習下絵を考える。／配色計画をする。／技法を効果的に使って制作する。

- ② 新鮮な見方で(2年の前半に制作)

遠近法の学習・スプーンに映った自分鏡の中の自分などのスケッチをする。下絵を考える。／配色計画をする。／単純化・省略化して版画用の下描きにする。／一版多色版画で制作する。

(3) 3年

- ① 「まとめる」方法と工夫(2年の後半に制作)

自分の伝えたいことを書き出しテーマを決める。／テーマを表現するための方法と工夫を考える。(インパクトのあるコピーや表現技法の活用など)／配色計画を考える。／表現にあった形態を考える。(平面・半立体・立体など)

- ② 私との対話・投影された私(3年の前半に制作)

自分について考える。(生い立ち・思い出・特徴・夢など)／自分だと分かる工夫をしながら下絵を考える。／配色計画を考える。／表現にあった形態を考える。(平面・半立体・立体など)



【24年度作品展より】

(渡辺 順子)

名古屋市立白山中学校
「学校祭『VIVA白山フェスタ2013』における校内作品展」
 平成25年度11月8日(金曜日)～11月9日(土曜日) 会場 格技場

1 ねらい

- 生徒の文化的活動を中心とした、日ごろの学習活動の成果を発表する。
- 生徒がお互いのよさに気づき、認め合う姿を育てる。

2 活動計画・内容

(1) 活動計画

日 程	内 容
9月 始業式	・夏のポスター ・書写作品 ・自主研究の集約
10月中旬～下旬	・自主研究の集約完了 ・保管 ・提出状況の確認
	・作品票の記入 ・集約
	・授業の作品 ・美術部の作品 ・学年の展示物の完成 1年「グラデーションデザイン」2年「創作漢字のデザイン」3年「CUBIC WORLD」
11月上旬	・提出状況一覧配付・会場函配付
	・会場準備[会場設営・作品搬入・作品展示]
11/8(金)	VIVA白山フェスタ 1日目 ・生徒作品見学 ・保護者作品見学 ・投票・選考
11/9(土)	VIVA白山フェスタ 2日目 ・保護者作品見学 ・作品搬出 ・片付け

(2) 具体的な内容

学校祭『VIVA白山フェスタ』の2日間、①日ごろの授業作品、②夏季休業中のポスターや書写課題、③自主研究課題、④美術部による作品、⑤各行事の記録、⑥保護者・地域住民・職員の作品を発表する場として開催する。『鑑賞見学』では、生徒同士で仲間の作品のよさを感じ取りながら、中でも最もよくがんばったと感じる作品に投票する。その結果は2日目のクロージングセレモニーで最優秀作品賞と優秀作品賞が表彰される。また、昨年は「和紙染め」の体験ができるワークショップを行い、さまざまな色に染めた和紙の美しさを味わうことができた。今年も進化！

(3) 展覧会の様子



【授業作品を鑑賞する様子】



【2012最優秀作品「白山中の模型」】



【ほかにも力作がいっぱい！】

(宮田 基)

名古屋市立東山小学校
「70周年記念 東山フェスティバル
～表現しよう 感じ取ろう みんなの思い～」

平成24年度11月15日(木曜日)～11月16日(金曜日) 会 場 体育館・体育館下校舎

1 ねらい

- 自分の思い楽しく形や色に表現することができるようにする。
- 友達の作品のよさや美しさに気づき、味わうことができるようにする。

2 活動内容

	平面作品	立体作品
1年	「のってみたいな」 (のったら楽しいなと思うものを、クレパスや絵の具でかく。)	「プレゼントをどうぞ」 (大好きな人にプレゼントしたくなるすてきな箱をつくる。紙工作。)
2年	「うつしてみると ～かみはんをつくって～」 (紙版画で動物と人を表現する。)	「ケーキ屋さん」 (紙粘土に絵の具を練り込み、パステル調のかわいいケーキをつくる。)
3年	「わたしの思いを絵手紙で」 (墨で迫力のある絵と文をかき、着色する。)	「お気に入りの小物入れ」 (いろいろな形のカップや空き缶、トレーを芯材として、紙ねん土を使った小物入れをつくる。)
4年	「心にのこったそのことを」 (水彩絵の具を中心にした絵画をかく。)	「ゆめの世界のゆめの家」 (ペットボトルを芯材として、紙粘土を使った夢の家をつくる。)
5年	「わすれられない あのとき」 (一版多色版画をつくる。)	「家族みんなの夢ルーム」 (板材と身近材料を使った家族の理想の部屋づくりをする。) 【鑑賞】会場にて、家族に自分の作品に関する質問をし、作品のよさを味わってもらい鑑賞を実施する。
6年	「わが町、東山」 (学区の好きな風景を絵で表現する。)	「12年後のわたし」 (針金を芯材にし、紙粘土で想像した12年後の自分を表現する。)
ひまわり	「のりものあつまれ」	「ひまわり スカイツリー」



【テーマ表示】



【ひまわりスカイツリー】



【夢ルーム】

(塚本雅子)

名古屋市立千鳥小学校

「伝わるかな？わたしのワクワク・ドキドキ」

平成24年度11月15日(木曜日)～11月16日(金曜日) 会場 格技場

1 ねらい

- 自分のアイデアを生かした作品を創り上げる喜びを味わうことができる。
- 作品の製作過程で、考えたことや学んだことを表現することができる。
- 鑑賞を通して、他の児童の作品の良さに気づき、今後の活動に生かすことができる。

2 展示内容

- 児童個人作品2点…壁面作品(平面または壁面への半立体)1点, 立体作品1点
- 全校共同作品1点
- 製作風景の写真放映(スクリーンセーバーで40分間に児童が1回登場する設定)
- クラブ作品

3 各学年のテーマと内容

学年	平面作品	立体作品
1年	『大好きな どうぶつと いっしょに』 自分の好きな動物を選び、パスを使って、自分の姿とともに、絵に表した。	『こんないきもの いたらいいな』 空き箱や容器を積んだりつないだりして、架空の動物を表した。
2年	『ふしぎな たまご』 卵から生まれる世界を想像し、絵に表した。卵の部分は別の色画用紙で貼った。	『まどをひらいて まどからこんにちは』 カッターナイフを使い、楽しい形の窓がある建物を表した。
3年	『はんをつかって』 いろいろな素材を活用して、好きな生きものの世界を紙版画で表した。	『ガラスびんのへんしん』 ガラスびんに着色した紙粘土をくっつけながら、生き物などを表した。
4年	『版画でつくろう 自分のおもしろい顔』 自分のおもしろい顔を鏡を見ながら描写して木版画で表し、絵の具で着色した。	『ゆめの世界のゆめの家』 ペットボトルや紙粘土を用いて家や店などを製作し、並べてゆめの町を表した。
5年	『刷り重ねて表そう～宮沢賢治の世界～』 宮沢賢治の物語の中で心をひかれた場面を、一版多色木版で表した。	『見よ！我々は建築家』 素材の特性を生かし、アルミ針金でタワーを、土粘土で古代遺跡を表した。
6年	『思い出の奈良・京都』 修学旅行で心に残った場面を、写真を見ながら水彩画で表した。	『12年後のわたし』 将来の夢をかなえた自分を、針金を芯材に用いて紙粘土で表した。
さくら もみじ	『折り紙パーティー』 自然材で額縁を飾り付けした台紙に、自分の好きな物の折り紙を散りばめた。	『ぼく・わたしのワクワク・ドキドキハウス』 実際に入れる大きさのダンボールに扉や窓をつくり、外や中を装飾して家を表した。

4 全校共同作品

近清商店さんにご協力いただき、地域の伝統工芸である鳴海絞りに取り組んだ。

洗濯ばさみや輪ゴムなどを使って一人一枚ハンカチを絞り、6色から選んで染め上げた。そして、学級ごとにハンカチをつなぎ、バスケットゴールからつるして展示した。

子どもたちは楽しみながら伝統工芸を体験し、染め上がったハンカチを広げた時や、実際に展示を見た時などは、笑顔や歓声があふれていた。

展示後のハンカチは子どもに返却した。 (大島 聖矢)



【全校共同作品】

名古屋市立柳小学校 「こころみつめて ゆめひろげて」

平成24年度11月16日(金曜日)～11月17日(土曜日) 会場 体育館

1 ねらい

- 作品展示を通して、日頃の成果を保護者の方に発表したり、友達同士で互いの表現のよさを感じ取り認め合ったりする。
- 作品をつくる楽しさ、表現する喜びを味わう。

2 活動計画・内容

(1) 全体のイメージ

会場全体は「生命」が感じられるように、また、子どもたちの夢がひろがってほしいという願いから、シンボルや装飾に「木」を使った。

(2) 展示の工夫

空間演出として、4年生と6年生が共同製作し、修学旅行の思い出やいのちをテーマとした、迫力のある木版画の作品を、会場中央に展示した。

(3) ペアで製作する「思いツリー」

1・6年、2・4年、3年・5年のペア学年で、色画用紙を切り取った葉と木の実に自分の作品への思いを書いた、カラフルな「思いツリー」を製作した。また、木の根元は版画の板を再利用し、装飾した。

(4) 保護者の感想を書いてもらい完成する会場

作品展を鑑賞してもらい、色画用紙を切り取った葉に木に貼り付けてもらうことで、会場がさらに華やかになり、会場が完成するようにした。

(5) 各学年の題材

学年	平面作品	立体作品
1年	のってみたいな (絵の具・パス)	はこのなかまたち(動物)
2年	うつしてみると (紙版画)	ぼうしをかぶって
3年	はんをつかって (紙版画)	ガラスびんのへんしん
4年	心の風景 (水彩画)	102人の夢をひろげて (4・6年木版画共同作品)
5年	ほりかさねてあらわそう (多色木版画)	タワーをたてよう (LEDを使って)
6年	風景画 (水彩画)	102人の夢をひろげて (4・6年木版画共同作品)



【版画の共同製作】



【〈思いの木〉保護者の感想】

(山田 洋揮)

名古屋市立大宝小学校 「みて！みて！あふれる思い」

平成23年度10月21日(金曜日)～10月22日(土曜日) 会場 体育館

みんなで作る「心のモニュメント」

「作品展に来てくれた人，みんなで一つの作品をつくりたい」そんな教師たちの思いで考えたのが「心のモニュメント」です。その概要を紹介したいと思います。

学区の段ボール工場の方から，一辺1m程度の正方形の段ボールをいただきました。それを立方体にして組み合わせ，モニュメントの形をつくり，体育館のステージ上に設置しました。この時点では，モニュメントの表面は，真っ白です。



【当初の「心のモニュメント」】



【「心のカタチ」の作り方】

別室をワークショップのコーナーにしました。色画用紙，のり，はさみ，両面テープなどを用意し，壁面に「心のカタチ」の作り方を掲示しました。つくり方と言っても特に決まっているわけではなく，紙を主材料に，のりや両面テープ，はさみなどを使って好きな形をつくるだけです。当日は，抽象的な形からハートや顔をモチーフにしたものなど，様々な「心のカタチ」が出来てきました。おじいちゃんやおばあちゃん，お父さんやお母さん，あと中学生や就学前の小さな子まで，わいわい・がやがやと楽しく取り組む姿が見られました。

別室をワークショップのコーナーにしました。色画用紙，のり，はさみ，両面テープなどを用意し，壁面に「心のカタチ」の作り方を掲示しました。つくり方と言っても特に決まっているわけではなく，紙を主材料に，のりや両面テープ，はさみなどを使って好きな形をつくるだけです。当日は，抽象的な形からハートや顔をモチーフにしたものなど，様々な「心のカタチ」が出来てきました。おじいちゃんやおばあちゃん，お父さんやお母さん，あと中学生や就学前の小さな子まで，わいわい・がやがやと楽しく取り組む姿が見られました。



【みんなで「心のカタチ」をつくっている様子】



【モニュメントと記念撮影】

面白いね」と語り合ったり，自分の作品をバックに記念撮影をしたりする姿が見られました。

児童だけではなく，全ての人に参加してもらうことで，みんなの「心のモニュメント」が完成しました。

そして，出来上がった「心のカタチ」を体育館に持って行って，モニュメントの好きなところに貼っていきます。時間が経つにつれ，どんどんと貼られていく「心のカタチ」が増えていきます。少し目を離すと，その変化の速さに驚いてしまうくらいです。友達と「これ，僕のだよ」とか「これ，面白いね」と語り合ったり，自分の作品をバックに記念撮影をしたりする姿が見られました。



【みんなで作った「心のモニュメント」】

(永峯 亮)